

県議会決算分科会 07年度決算認定に反対

# 有機E.L 関連事業 多額の大企業支援

03年、09年まで43億  
と見込み、補助金を  
400、1900人  
7、10億円、雇用1  
800億円、税収で  
工業出荷額600、  
年に経済波及効果を  
想として、2009  
トロニクスバレー構  
成として、2009

定です。  
「ルミオテック」が  
設立され、来年、照  
明用パネルのサンブ  
ル製造を開始する予  
定です。

県議会の商工労働  
観光決算分科会で6  
日、有機エレクトロ  
ニクスバレー推進事  
業について取り上げ  
ました。  
この事業は、有機  
E.L産業の集積をめ  
ざすとして、米沢市  
の有機エレクトロニ  
クス研究所を核とす  
る産学官の連携で進  
められています。5  
月に、次世代の照明  
として期待される有  
機E.Lパネルの実用  
化に向けた新会社  
「ルミオテック」が

「なかなか難しいと  
思っているが、県と  
しても、県内企業へ  
参加する新会社（ル  
ミオテック）が立地  
され、企業の方々に  
は高い評価を受けて  
いると考えている」と  
述べ、09年の経済  
波及効果については

「当初の構想で見込  
んだ経済波及効果が  
09年は迫っているが  
どうか」と質しま  
した。  
山田栄造・産業政  
策課金融対策主幹は  
「昨年度、有機E.L  
関連の金融支援はあ  
りませんでした」と  
答弁。藤原茂樹・工  
業振興課長は、「今  
年、三菱重工などが

「昨年度重点施策の  
ひとつとされてきた  
有機E.L産業にかか  
わる金融支援や企業  
立地があったのか」  
「有機E.L産業に集積  
の働きかけなど、有  
機E.L産業集積に向  
け努力している」と  
答えました。  
私はさらに、「有機  
エレクトロニクス研  
究所と共同で研究開  
発をおこなっている  
参加企業と特許など  
について質しました  
が、藤原課長は「研  
究所は、この間、35  
件の特許を取得して  
いる」と指摘し、支  
援のあり方を検証す  
べきとして、決算認  
定には反対しまし

## 県民への説明責任はたせ



2008年11月16日  
第51号  
発行  
日本共産党県議会議員  
渡辺ゆり子  
〈連絡先〉  
日本共産党県議団執務室  
電話 023-630-3241  
自宅:山形市青田2-10-5  
電話 023-642-2365

県は、7年間で43億円の補  
助金の期限が切れる2010  
年以降について、検討を迫ら  
れています。報道では、研究  
所が第1期に続いて2期5年  
間の補助金追加を求めている  
とされています。

関係産業の集積をめざす活動  
が活発化しています。  
山形県の有機E.L関連産業  
集積が成功するのかわれく  
らいの規模になるのか、まっ  
たく未知数です。

「これ以上補助金を減らさな  
いでほしい」との声があるな  
かで、大企業が参加する有機  
E.L関連事業への多額の助成  
を続けていくのか、県の支援  
のあり方が問われています。

### 今後の展望は未知数

有機E.Lの研究開発は、日本  
が現在トップを走っている  
といわれていますが、国際的  
な競争となっています。  
また、国内でも、照明分野  
だけでなく、各地で有機E.L

県内の商工  
会からは、  
「有機E.Lの研究開発は、日本  
が現在トップを走っている  
といわれていますが、国際的  
な競争となっています。  
また、国内でも、照明分野  
だけでなく、各地で有機E.L

「これは反対しまし  
た。」と答弁。私は「有機  
エレクトロニクス研  
究所と共同で研究開  
発をおこなっている  
参加企業と特許など  
について質しました  
が、藤原課長は「研  
究所は、この間、35  
件の特許を取得して  
いる」と指摘し、支  
援のあり方を検証す  
べきとして、決算認  
定には反対しまし



色鮮やかに、干し柿作りが始まっています  
11月6日、上山市

### 投機マネー規制が重要

講演会「どうする日本の景気・雇用」

9日、日本共産党県  
委員会と県後援会の共  
催による「どうする日  
本の景気・雇用」と題  
した講演会が、山形市  
で開催されました。  
講師は、「新自由主義  
の犯罪」など経済、財  
政問題の著書や論文を  
多く出している、共産  
党の大門みき参議院  
議員。日本経済のくら  
しや雇用の現状から、  
大銀行や大企業の過剰  
資金の流れ、投機マネー  
の世界規模での動きな  
ど、わかりやすく説明  
すると同時に、総選挙  
後まで見通した日本共産  
党の国会での議席増が  
重要であることを強調  
しました。  
会場からは、「大門  
さんの著書の指摘通り  
の経済状況になった」  
との感想や、「ヨーロッパ、  
中南米、中国の経  
済政策や方向は？」  
、「株や証券売買につい  
て、どう考えたらいい  
か」など、質問が相次  
ぎました。



大門議員は、  
「朝まで生テレ  
ビ」出演の  
話をユーモア  
を交えながら  
答え、労働運  
動や組合運動  
にたずさわる  
人は金融・経  
済問題を学習  
する必要性が  
増している」と  
述べ、参加  
者からは共感  
のうなずきが  
多くありまし  
た。

ゆり子の視点  
生活防衛に  
みんな必死です  
秋は多彩な行事が開催されて  
いますが、多くの団体が産直や  
バザー、フリーマーケットなど  
をおこなっています。  
団体自身の財政活動はもちろ  
んのこと、不用品の交換・リサ  
イクルなどにもつながっています。  
今年はいよいよ、生活防衛の  
意味合いが強いように思います。  
産直では、生産している人が  
新鮮かつ安全でおいしいものを  
安く販売しています。バザーで  
は、市価の半値以下くらいで自  
分の気に入ったものを見つけて  
ことができます。しかも、その  
場で値切ったり、おまけをもらっ  
たり、なにより人と人の交流が面  
白いです。  
若い子育て世代のなかには、  
バザーを活用して育ち盛りの子  
ども服をゲットしている人も多  
いようです。新しいランドセル  
も出ていました。お祝ひ品が重  
なったのでしょうか？と来  
春には、誰かの背中がピカピカ  
光っていることでしょうか。  
たいしては、女性たちが知恵  
をこらして開催しています。  
くらし防衛の必死の思いを、  
政治にも反映させたいと強く思  
いました。

12月県議会  
12月3日開会の予定です。